

『人間のしがらみ』下巻 主要登場人物

フィリップ・ケアリー……芸術家になることを諦めてパリを離れ、ロンドンで聖ロカ医学校の学生となった。
ヘイワード……ハイデルベルクで知り合ったイングランド人。フィリップとはたびたび連絡を取り合う仲。
ミルドレッド・ロジャーズ……ロンドンで働くウエイトレス。フィリップのプロポーズを断つて常連のドイツ人エミール・ミラーと結婚した。
クラトン……アマトラノ美術学校での友人。完全主義者。芸術についての議論を好んでいた。
フラナガン……アマトラノ美術学校での友人。快活なアメリカ人。
ローン……アマトラノ美術学校での友人。フィリップとは一緒に小さなアトリエに住んでいたことがある。

クロンショー……パリで赤貧生活を送る酒好きの詩人。美学生の面々に影響を与えていた。
ノーラ・ネズビット……三文小説家。ローンを介してフィリップと知り合う。夫とは別居中。
マカリスター……ヘイワードのケンブリッジ時代の友人。株式仲買人。
グリフィス……聖ロカ医学校の同級生。フィリップと同年。
ソープ・アセルニー……スペイン文化に対して情熱を抱く男。フィリップが患者として担当した。リン・アンド・セドリー商会の新聞広告担当。
サリー……アセルニー一家の長女。静かで謎めいたところがある。

DIC
F273

K100



人間のしがらみ 下巻
59.5mm×135mm

しおり (裏面)

DIC
F273

K100



人間のしがらみ 下巻
59.5mm×135mm

しおり (表面)